

ブ ラ ケ ッ ト シ リ ー ズ
仕 様 書

2 0 2 0 年 1 月 3 1 日

因幡電機産業株式会社
開発統括部

1. 適 用

本仕様書はブラケットシリーズ（LMB、LB-1T、TB-1Y、MB、MBB、LBU）に適用します。

2. 材質及び加表

ブラケットの材質及び加表を 表－1 に示します。

表－1 ブラケットの材質及び加表

品 名	型 番	材 質	加 表
L型ブラケット (M仕様)	LBM	熱間圧延軟鋼板 SPHC JIS G 3131	電気亜鉛メッキ (ユニクロ) JIS H 8610 1種 B 1級
	LBM-SUS	冷間圧延ステンレス鋼帯 SUS 304-CS JIS G 4307	—————
	LBM-Z	熱間圧延軟鋼板 SPHC JIS G 3131	溶融亜鉛メッキ HDZ 35 JIS H 8641 2種 35
L型ブラケット	LB-1T	熱間圧延軟鋼板 SPHC JIS G 3131	溶融亜鉛メッキ HDZ 35 JIS H 8641 2種 35
三角ブラケット	TB-1Y	熱間圧延軟鋼板 SPHC JIS G 3131	溶融亜鉛メッキ HDZ 35 JIS H 8641 2種 35
門型ブラケット	MB	熱間圧延軟鋼板 SPHC JIS G 3131	溶融亜鉛メッキ HDZ 35 JIS H 8641 2種 35
ブラケットベース	MBB	熱間圧延軟鋼板 SPHC ベース (R/L) : JIS G 3131	溶融亜鉛メッキ HDZ 35 JIS H 8641 2種 35
		一般構造用圧延鋼材 SS ボルトセット : JIS G 3101	
ブラケット用 チャンネル取付金具	LBU	冷間圧延鋼板 SPCC JIS G 3141	電気亜鉛メッキ (クロメート) JIS H 8610 2種 1級

3. 耐荷重特性

3-1. 耐荷重特性評価基準

静荷重を前提として 図-1 及び 図-2 の様に、中央集中荷重負担後に荷重を取り除いた時、復元する限界の荷重を許容静荷重として評価しています。

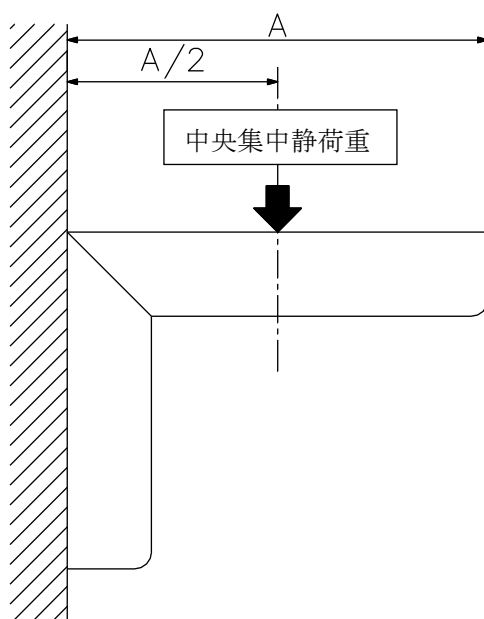


図-1

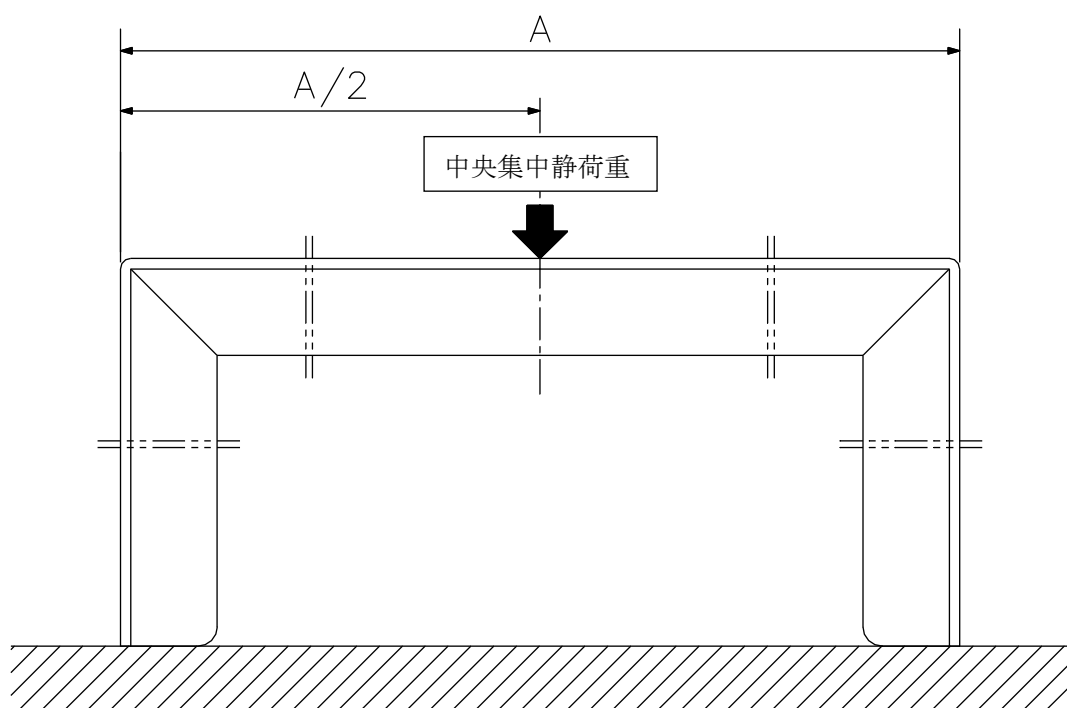


図-2

3-2. 許容静荷重

ブラケット（L型 LB・三角 TB・門型 MB）の許容静荷重を 表-2 に示します。

表-2 ブラケット（L型 LB・三角 TB・門型 MB）の許容静荷重

品 名	型 番	A (mm)	許容静荷重
L型ブラケット (M仕様)	LBM-0	120	4214N (430kgf)
		150	2940N (300kgf)
	LBM-1	150	2940N (300kgf)
	LBM-2	150	2940N (300kgf)
		210	2352N (240kgf)
	LBM-3	210	2352N (240kgf)
		300	1274N (130kgf)
	LBM-4	240	1960N (200kgf)
		390	882N (90kgf)
	LBM-5	300	1274N (130kgf)
		510	490N (50kgf)
	LBM-6	300	1274N (130kgf)
		600	392N (40kgf)
	LBM-7	390	882N (90kgf)
		690	343N (35kgf)
	LBM-8	390	882N (90kgf)
		810	245N (25kgf)
	LBM-9	510	490N (50kgf)
		900	225N (23kgf)
L型ブラケット	LB-1T15	150	2940N (300kgf)
	LB-1T30	300	1470N (150kgf)
三角ブラケット	TB-1Y30	300	4410N (450kgf)
	TB-1Y45	450	2450N (250kgf)
門型ブラケット	MB-253	250	2450N (250kgf)
	MB-255		
	MB-353	350	1862N (190kgf)
	MB-355		
	MB-503	500	1372N (140kgf)
	MB-505		